

## 2016 年度事業報告 (2016-04-01 ~ 2017-03-31)

### I 事業概況

#### 【0】基本方針・重点課題と成果

1. 一般財団法人として評議員第2期、理事・監事第3期の体制に入り、前年度までの施策、実績を踏まえ、各事業の発展を図った。
2. エスペラント広報冊子の全面改訂版が完成するなど広報材料の拡充が進んだ。日本語エスペラント辞典の全面改訂のための編集委員会が始動した。また第2回日韓共同開催エスペラント大会の2018年開催が決定した。

#### 【1】エスペラント普及事業

(担当：普及推進部)

##### 【1.1】基本方針と成果

国内外のエスペラント組織、本会会員との連携を強化し、協働の輪を広げエスペラント運動の発展を図った。第103回日本エスペラント大会(滋賀県近江八幡市)の開催を機に、特に一般社団法人関西エスペラント連盟(KLEG)と協働し、近畿圏での普及に力を入れた。また広報委員会の活動を軸として一般への効果的なエスペラント広報活動に努めた。

##### 【1.2】エスペラント普及推進事業

1. エスペラント運動の現状把握に努めた。『エスペラント運動年鑑2015』を *La Revuo Orienta* (RO) 誌4月号大特集として発行した。『エスペラント運動2016』のための情報提供を受け、2017年度のRO誌4月号大特集として発行した。
2. 会員、各エスペラント団体の連携強化、活動支援に努めた。
  - (1) 「エスペラント会連携推進委員会」の活動として、日本エスペラント大会中に「エスペラント会懇談会」を開催し、意見交換、情報共有に努めた。メーリングリストも情報共有、経験交流の場として定着した。
  - (2) 地方エスペラント大会(7大会)に理事長挨拶を送り、4大会に理事が参加した。
3. 会員の拡大・定着: 団体会員1団体増加(63団体)、個人会員33人減少(1083人)。電子版会員が6人増加した(個人会員は2017年初、前年同時期との比較)。

4. 小坂賞: Grupo NUN-Vortoj への授賞を決め、日本エスペラント大会で授与した。

5. 青年エスペラント企画支援金: 2件の個人、1件の団体申請があり審査を行い、支援を行った(計170,600円)。

##### 【1.3】エスペラント広報事業

1. 広報委員会を4回(6月、9月、11月、2017年2月)開催、スカイプも活用した。
2. 本会のウェブページ、フェイスブック、ツイッター等のウェブ活用により、一般およびエスペランティストにエスペラントに関する各種の情報提供を行った。
3. ニュースリリース「エスペラントの今」の発行: No.6「KER試験」、No.7「聖書翻訳90周年」、No.8「日韓エスペラント交流」、No.9「ザメンホフ没後100年」を発行し、マスコミ各社に配布した。
4. 第2回エスペラント動画コンクールの募集を開始。表彰は第104回日本エスペラント大会で行う。チラシを製作し学校等に配布した。
5. 広報材料の拡充: 広報冊子『通い合う地球の言葉 国際語エスペラント』を発行した。
6. 展示会: 10月1~2日にグローバルフェスタ2016(東京、お台場)に出展、活動報告等も行った。

#### 【2】エスペラントを用いた国際交流事業

(担当：国際部)

##### 【2.1】事業の方針と成果

1. 国際的なエスペラント事業を、特に世界エスペラント会(Universala Esperanto-Asocio = UEA)の日本における国別代表組織として推進した。また、UEAのアジア運動委員会(Komisiono de UEA pri Azia Esperanto-Movado = KAEM)と協働した。事業には、日本UEA委員、UEA-delegito(都市別代表)、KAEM委員やKAEM協力者が協働して当たった。
2. 日本のエスペランティストが行う国際的なエスペラント活動を支援した。
3. 外国のエスペランティストに日本の各種催事への参加を促した。

## 【2.2】国際交流事業

1. 2016年に開催された国際的なエスペラント大会への参加、また協力を呼びかけた。
- (1) 第101回世界エスペラント大会（スロバキアのニトラ、7月23日～30日）に対して、旅行団を実施し、16人が参加した。開会式に在スロバキア日本国大使の新美潤氏が出席した。Movada Foiro（運動フェア）に出展した。また、UEA-A委員2人がUEA委員会に出席した。
- (2) 第103回日本エスペラント大会（【6.2】1.参照）中の関連行事として、アジア活動分科会、UEA-delegito（都市別代表）分科会及びPasporta Servo（国際無料宿泊網）分科会を開催した。東アジア4か国の代表組織に同大会への招待状を送り、韓国・ベトナムから来訪した。
- (3) 第8回アジアエスペラント大会（中国の泉州、11月3日～5日）へのグループ旅行を実施し、15人が参加した。
- (4) 青年エスペランティスト国際行動支援金の活用を促したが、応募がなかった。
2. UEAの定款（Statuto）改定について、全UEA会員の批准投票が行われ、本会もUEAのLanda Asocio（団体会員）として理事会での決議により賛成投票を行った。12月15日に全ての改定項目が批准された。
3. 第102回世界エスペラント大会（韓国ソウル、7月22日～29日）に関連し、KAEMの要請に応じて同大会にアジアの活動家を参加させるための寄付金の呼びかけを行い、取り次いだ（2017年4月までに406,025円）。
4. 国際文通サービス：21人を仲介した。

## 【3】エスペラント研究教育事業

（担当：研究教育部）

### 【3.1】事業の方針と成果

1. 教育部門においては、エスペラント学習者の語学力向上の支援、エスペラント指導者の育成および指導力強化、エスペラント入門のための資料提供、学校におけるエスペラント授業への支援、エスペラント界外でのエスペラント教育に関連する事業の支援等に取り組んだ。また若い学習者への支援を強めるためウェブによる学習環境を充実した。
2. 研究部門においては、エスペラント語学の

振興および関連諸分野との交流を含めたエスペラント語論の発展に取り組み、増強を図った。

3. ハヶ岳エスペラント館を本会の研修施設として活用し、内外のエスペランティストおよび一般に開かれた施設として有効利用した。

### 【3.2】研究教育事業

1. エスペラント集中学習の機会として、第49回エスペラントセミナーを4月29日～5月1日に埼玉県嵐山町で開催した。4クラスに計35人が参加した。
2. 講師養成講座を2017年1月28日に京都市のエスペラント会館にて実施し、14人が参加した。白井裕之氏が講師を務めた。
3. JEIで常設講座を開設する件について、都区内エスペラント会連絡会との意見交換の場を持った。2017年秋の開催を目標に調整を行う。
4. 各種試験
  - (1) エスペラント学力検定試験は、4月に埼玉県嵐山町で3人、8月に徳島市で3人、10月に近江八幡市で7人、札幌市で5人、11月に東京都新宿区で6人が受験した。
  - (2) UEAの主催するKomuna Eüropa Referenckadroに基づく試験（KER試験）を6月4日にエスペラント会館で実施し、6人が受験した。
5. 学力検定試験の試験委員を3人から4人に増員した。
6. 学校でのエスペラント授業支援については、中学校1校の本会への訪問学習を受け入れた。
7. ウェブ版「ドリル式エスペラント入門」を公開し、ウェブサイトを介して質問に回答する体制を整えた。
8. 今後のエスペラント教育の新たな体制作りの検討は行うことができなかった。
9. 文芸コンクールを実施し、6件の応募から3件の入賞作品を選び、日本エスペラント大会で表彰した。
10. 日本エスペラント大会の研究発表会で5件の発表があり、『研究発表会予稿集』を発行した。研究発表会運営委員会を委員6名で新設した。

### 【3.3】ハヶ岳エスペラント館における事業

1. 4月10日に開館し、11月18日に閉館した。

- 延べ利用者数は運営委員を含み544人。
2. 今年度から新しい宿泊寄付金体系を適用した。
  3. 運営委員の増員に努め、昨年度11人から今年度14人の運営体制となった。
  4. 「春の八ヶ岳エスペラント館の日」の行事を4月22日～24日に実施し、11人が参加した。
  5. 第18回エスペラント漬け合宿(NEK)を8月27日～29日に実施し、16人が参加した。
  6. 「秋の八ヶ岳エスペラント館の日」の行事を9月17日～19日に実施し、13人が参加した。
  7. 開館前に外壁の再塗装と屋根の清掃を行ったほか、開館中は館内外の整備に努めた。

#### 【4】エスペラント雑誌の刊行事業

(担当：編集部)

##### 【4.1】事業の方針と成果

雑誌『エスペラント／*La Revuo Orienta*』(RO誌)を年11回発行し、エスペラントの普及発展に資した。

##### 【4.2】雑誌刊行事業

1. RO誌を毎月(8、9月は合併号)刊行した(電子版、音声版を含めて)。発行部数は年度当初1400部、10月号から1300部。
2. 他部門と連携し、大特集号を発行した：4月大特集(エスペラント運動年鑑2015)、1月号大特集(第103回日本エスペラント大会報告書)。
3. 拡大編集会議を2017年1月7日に実施した。

#### 【5】エスペラント図書等の刊行及び頒布事業

(担当：出版部)

##### 【5.1】事業の方針と成果

1. エスペラントの学習、エスペラントに関する文化の発展、エスペラント普及に資する図書出版活動を行った。
2. 内外のエスペラント図書を仕入れて販売した。また内外のエスペラント雑誌購読を取り次いだ。

##### 【5.2】図書刊行事業

1. 図書の発行
  - (1) 『エスペラント学力検定試験問題集一解答付きー(2016年版)』を4月に発行した。
  - (2) 『通い合う地球のこぼ 国際語エスペラント』を9月に発行した。
  - (3) *De Dinamika Lago Biŭa al la mondo* (山

口隆雄著『ダイナミックレイク琵琶湖から世界へ』のエスペラント翻訳版)を10月に発行した。

- (4) 『発見！エスペラント 魅惑の言語』の第4刷を12月に増刷発行した。

- (5) 『20のポイントで学ぶ国際語エスペラント入門』の第4版を2017年1月に増刷発行した。

##### 2. 今後の出版物の計画

- (1) 『新日本語エスペラント辞典』(仮称)の編集委員会を5月15日、9月4日、2017年1月8日に実施した。

- (2) 『漢字学習辞典エスペラント語版』(日中韓辞典研究所編集)の出版契約について同研究所と協議した。原稿引渡しは2017年度内の予定。

##### 【5.3】図書頒布事業

エスペラント書籍、雑誌の販売、取次を行った。

##### 【6】エスペラント大会主催事業

(担当：大会組織部)

##### 【6.1】事業の方針と成果

2016年の日本エスペラント大会を開催し、大会を継続して開催する体制の整備を進めた。

##### 【6.2】日本エスペラント大会主催事業

1. 第103回日本エスペラント大会(滋賀県、近江八幡市、10月8日～10日)
  - (1) 近江エスペラント会と共同主催した。(一社)関西エスペラント連盟の協力を得た。大会テーマは「琵琶湖、人、調和」“Lago Biŭa, Homo, Harmonio”。
  - (2) 431人が参加した。実参加は285人、外国からの実参加は7か国13人。この内、国際部からの招待は2人。
  - (3) 国際部の招待とは別に、大会としてカンボジアから青年を招待し、招待者は講演した。
  - (4) その他公開講演会のチラシ、ポスターを作製し、市内各所へ配った。会場のヴォーリズ学園の生徒や市民など100名を超える参加者があった。同学園生徒たちによる吹奏楽演奏等の協力があった。大会後、学校図書館にエスペラントコーナーが新設された。
2. 第104回日本エスペラント大会(神奈川県横浜市2017年11月3日～5日)  
NPO法人エスペラントよこはまと共同主催

し、神奈川県立かながわ労働プラザ（Lプラザ）で開催する準備を進め、11月に大会実行委員会を発足させた。

3. 2018年の第105回日本エスペラント大会（第2回日韓共同開催エスペラント大会）を奈良市で、（社）関西エスペラント連盟と共同開催することを決めた。第50回韓国エスペラント大会を同時開催する形となる。会場は奈良県文化会館、開催日は2018年10月12日～14日と決定した。

### 【7】その他事業及び法人の管理

（担当：総務部、財務部、ウェブ管理部）

#### 【7.1】事業の方針と成果

1. 本協会のエスペラント事業の核となる会員の活動を支援した。
2. 各事業部門と連携し、事業が円滑に行われるよう支援した。
3. 前年度に引き続き本財団の管理方法確立に取り組んだ。

#### 【7.2】総務部担当事項

1. 総務部の職務（庶務、会員管理、エスペラント会館管理活用、役員支援など）を事務局および関連委員会（選挙管理委員会、小坂賞委員会）の協力を得て着実に実行した。
2. 事務局の課題には、財務部とともに事務局会議を定期的（隔月で）に開き、対応した。
3. 図書館関連事業を、ボランティアの協力を得て推進した。寄贈図書の整理を行い、図書館蔵書目録のパソコン入力を引き続き行って、図書館の整備を進めた。
4. 図書カタログは3年ごとの発行とし、2017年度の発行を決定した。販売図書のデータベース整備については具体的な検討までは進まなかった。図書販売促進のために、寄贈図書の値下げ販売などを行った。
5. 関連事業部と協力し、第101回世界エスペラント大会へ向けて参加旅行団を企画、実施した。また、第8回アジアエスペラント大会へのグループ旅行を企画し、参加者の便宜を図った。（【2.2】1.(1)、(3)参照）
6. 会員規程の青年割引につき、青年の範囲を「当該年1月1日現在30歳未満」より「同35歳以下」に改定した。他の青年に関わる規程類も同様に改定した。

#### 【7.3】財務部担当事項

公益目的支出計画および長期予算計画との整合を取りつつ、中長期的な視野の下に堅実な収支運営を図り、本会事業の執行を財務面から支えた。

#### 【7.4】ウェブ管理部担当事項

1. 本会ウェブサイト、フェイスブック、ツイッター、エスペラント会懇談会のウェブサイトにて、エスペラントやその活動の広報、会員への情報公開サービスを行った。
2. 本会ウェブサイトの刷新に伴い、2017年1月にエスペラント版のウェブサイトを公開した。

## II 庶務事項

### 1. 会議の開催

- (1) 評議員会：6月19日
- (2) 理事会：5月22日、6月26日、2017年3月26日
- (3) 業務執行理事会：9月11日、2017年1月22日
- (4) 副理事長会：4月21日、11月11日、2017年2月17日
- (5) 監査：5月21日
- (6) 協議員会：2017年1月22日
- (7) 会員総会：10月9日、第103回日本エスペラント大会会場内

2. 会員：1146（2017年1月17日現在、個人会員1083、団体会員63）

### 3. 役員・職員等の人事

- (1) 評議員：任期終了（6月）のため、評議員選定委員会を4月7日に開催し、新評議員（任期2016年6月～2020年6月）を選定した。
- (2) 理事・監事：任期終了（6月）のため、協議員による理事及び監事候補具申のための選挙を実施（開票：5月7日、具申：5月22日理事会）。評議員会（6月19日）にて新任（2016年6月～2018年6月）の理事・監事を選出した。その後、新理事による理事会（6月26日）で理事長や各業務執行理事の業務分担を決定した。
- (3) 協議員：2017～2018年任期の協議員選挙（定数11人）を10月1日に告示。12月10日開票。選挙結果をもとに理事会が新協議員を選任した。
- (4) 顧問：辞任2人。 (以上)